



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO. 6
(通巻137号)
平成29年(2017)
6月1日(木)

運動会スローガン「Be Ambitious! 勝利を目指せ! ~新しい一歩を踏み出そう~」

いよいよ明後日『70周年記念運動会』

校長 飯野 博史

70周年記念運動会開催、いよいよ明後日となりました。70周年を記念し、開会式で聖火入場を行います。ご期待ください。

■開会式

8:45~

司会: ○○○○くん、○○○○さん

- ① 選手入場 入場行進演奏: 吹奏楽部
- ② 開会の言葉 ○○○○くん
(運動会実行委員長)
- ③ 校旗掲揚 生徒会役員
- ④ 聖火入場 聖火ランナー: ○○○○さん
- ⑤ 校長挨拶
- ⑥ 演技上の注意 ○○○○さん
- ⑦ 選手宣誓 ○○○○くん

プログラム1 準備体操 ○○○○くん

■閉会式

- ① 成績発表 ○○○○さん
○○○○さん
- ② 表彰
- ③ 校長講評
- ④ PTA会長挨拶
- ⑤ 校歌斉唱 指揮: ○○○○さん
- ⑥ 校旗降納
- ⑦ 閉会の言葉 ○○○○さん

※ 昼食時に体育館を開放します。お弁当等のゴミはお持ち帰りください。

■「そくだ 奈良・京都、修学旅行 無事終了」 5/17~19

修学旅行が大きな成果を上げて無事終了しました。3日間好天に恵まれ、奈良・京都は連日30度近くまで気温が上がりました。修学旅行シーズンのピークということもあり、どこも大変な混みようでした。

2日目の班別京都市内行動では、混雑のため思うようにバスに乗れず、計画を変更する班もありました。今までの校外学習の成果をいかし、慌てることなく本部に連絡を入れ、どの班も定刻の5時には宿舎に戻ってきました。

一人一人に「この修学旅行を成功させよう」という意気込みが感じられました。体調を崩した仲間に「大丈夫?」と優しく声をかける生徒がたくさんいました。

E組では初の試みとして嵯峨野トロッコ列車に乗りました。新緑の中、保津川を見ながら走るトロッコ列車に生徒たちは大喜びでした。京都タワーから夜の京都市内を一望しました。AB組との交流も深まりました。

修学旅行で学んだことをこれからの学校生活に生かしていきます。



◎生徒の活躍

- ・ 目黒区中学校バスケットボール春季大会 兼第55回目黒区春季バスケットボール大会
4位 バスケットボール部（女子） 4/29
- ・ 第68回東京都中学校地域別陸上競技大会 5/21
3位 ○○○○くん 男子西部共通走高跳 1m58 → 都大会出場へ

『新学習指導要領等に向けて』（2）

（どのように学ぶか）

前号では、子供たちの現状と課題を踏まえ、新学習指導要領がどのような方向で改善されるのかについて述べました。今回は授業がどう変わっていくのかについてまとめてみました。

「主体的・対話的で深い学び」を実現することの意義

「主体的・対話的で深い学び」の実現とは、特定の指導方法のことを指すのではなく、教員が教えることにしっかりと関わり、子供たちに求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を重ねていくことです。

以下の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすることです。

- ① 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」ができているか。
- ② 子供同士の協議、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手がかりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。
- ③ 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

「アクティブ・ラーニング」については、地域や社会の具体的な問題を解決する学習を指すものと理解されることもありますが、例えば国語や各教科等における言語活動や、社会科において課題を追究し解決する活動、理科において観察・実験を通じて課題を探究する学習、体育における運動課題を解決する学習、美術における表現や鑑賞の活動など、全ての教科等における活動に関わるものであり、これまでも充実が図られてきたこうした学習を、さらに改善・充実させていく視点が重要となります。

こうした学習活動については、今までの授業時数とは別に新たに時間を確保しなければできないものではなく、現在既に行われているこれらの活動を、「主体的・対話的で深い学び」の視点で改善し、単元や題材のまとまりの中で指導内容を関連付けつつ、質を高めていく工夫が求められることとなります。

また、「主体的・対話的で深い学び」は、1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではなく、単元や題材のまとまりの中で実現されていくことが求められています。

八中では「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、毎時間の授業のねらいを明確にする、見通しを立てて学習に取り組み、学習の振り返りを行うという活動に取り組んでいます。「学習カード（振り返りシート）」に全教科で組織的に取り組み、成果を上げているところです。

今後は、主体的に興味・関心を持って取り組めるような課題を設定し、ペア学習や小グループ学習を日常的に行い、お互いの対話を通して学び合う授業を目指していきます。

※ 教育委員会月報（文部科学省）平成29年3月号を参考にしました。